

ハロー！東田

東田自治区だより
 第314号
 平成29年5月発行
 編集：広報委員会
 (毎月15日発行)

熊本地震から学ぶこと

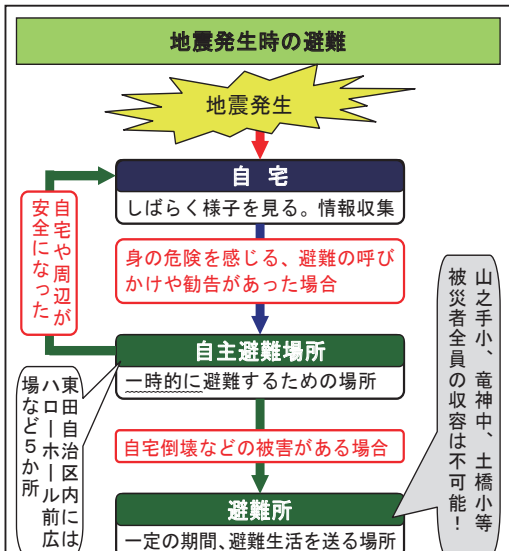
熊本地震から1年

熊本地方で震度7の強い地震が発生して1年が経ちました。死者228名、重軽傷者約2800名、家屋の全半壊約43000棟という大災害となりました。大きく被災した熊本城は熊本地震のシンボルとなっていますが、被災地域には未だに住宅の再建どころか、被災住宅の撤去すらできず不自由な生活を送って見える方が多数おられます。熊本地震から1年。今回は避難所と情報連絡システムについてお伝えします。

避難所はあてにならない！自分で備える

地震が発生したら、まず身の安全を確保することが第一です。そして自宅や周辺の状況を確認して、避難が必要と感じた場合や避難勧告等があった場合には自治区が指定した「自主避難場所」に行きます。東田自治区の自主避難場所は、シロキ工業東側駐車場、フタバ産業駐車場、ハローホール前ふれあい広場、寿町3丁目のちびっこ広場、大林西ちびっこ広場の5か所です。

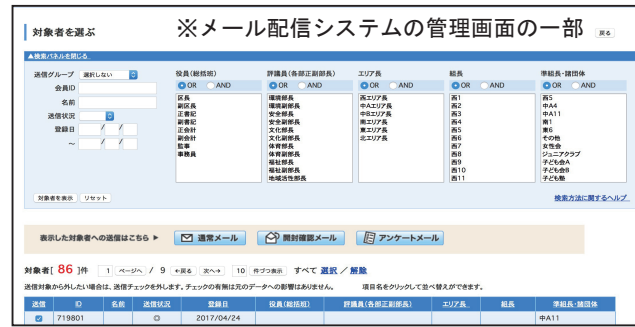
そして自宅や周辺が安全と判断される場合には自宅に戻ります。自宅が倒壊するなどした場合に指定した「避難所」に行きます。この近くの避難所は、山之手小、竜神中、土橋小、大林小です。しかし、問題は収容能力です。食料や水の備蓄量は必ずしも十分ではなく、この地域の人口を考えれば、避難所に希望者が入れない可能性が高いことを認識しておかなければなりません。むしろ避難所はあてにならないと自覚し、できるだけ自力で生活する覚悟と準備をしておくことが必要です。



自治区はメール配信システムを構築

東田自治区ではこの4月から、役員、組長、各種団体の長など自治区関係者への連絡に「メール配信システム」を本格運用しています。これは、従来の電話連絡網だと連絡がとれないことも多く、また災害時には通話ができないうことが想定されるため、インターネット回線を活用して一斉送信を行うものです。

このメールシステムは、学校などで使われているものの応用で、登録情報は何組の組長などの役職とメールアドレスのみです。平常時に情報の一斉送信を行うだけでなく、万が一の時には安否確認を行うこともできます。現在は役員や組長のみですが、将来的には区民全員の安否確認ができるシステムを目指したいと考えています。



お知らせ

- ◆ふるさとづくり委員交流会◆
 ◇日時／6月10日(土) 午前10時～12時
 ◇場所／ハローホール2階集会室
 ◇内容／各団体の紹介、活動報告、意見交換など(年2回開催)
 ◇連絡／関係者には別途案内あり
- ◆全市一斉「環境美化の日」にご協力を◆
 ◇日時／6月18日(日)午前7時～
 小雨決行(雨天時は25日に延期。延期の場合は連絡網で伝達。連絡がない時は実施)
 ◇分別／集めたごみは分別する。刈草や木、砂と泥は自治区で回収しますので、8時30分までにごみステーションに出してください。
- ◆花いっぱい事業(花壇の花植え)◆
 ◇日時／6月18日(日)午前10時頃～
 ◇内容／花壇の花植え
 ◇主催／東田フラワークラブ、地域活性部

東田 心風

子ども達の未来は地域で守る、罪のない子ども達が犠牲となる心痛める事件が後を絶たません。千葉県で小学3年生の女児が殺害された事件は、逮捕された容疑者が地域で子どもを守る立場の保護者会長だったという報道に大きな衝撃を受け、何を信じて子ども達を守り育てていけば...と戸惑うばかりです。

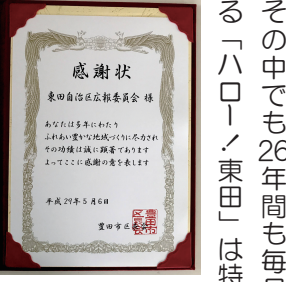
この事件に関連して4月18日付け中日新聞は、夜回り先生で知られる水谷修氏と尾木ママこと尾木直樹氏のコメントを掲載しています。水谷氏は「悪い大人はほんの一握り。何百倍もいい大人がそばにいて、守ろうとしている。人を信じることをやめないで。子どもが『大人が怖い』と言ってきたら『いい大人も大勢いる』と安心させてほしい」と、また尾木氏は「地域社会が協力して子どもを育ててきたことは、長い人類の歴史。だから事件によって、絶望しないでください」と述べています。

信頼できる大人は、常に近くにいます。5月2日(火)、山之手小学校では防犯教室を開催し、不審者に遭遇した場合の対処法、撃退法、防犯ブザーの使用方法などを学びました。悲しい事件を未然に防ぐ為の備えと、子ども達が援助を求めるとき、迷わず私達を信じて駆け込める様な地域づくりを進めましょう！(み)

東田広報委員会に区長会から感謝状

このほど東田広報委員会(岩月靖明委員長)が豊田市区長会から感謝状を贈呈されました。この感謝状は長年にわたり地域づくりに貢献した市民や団体に対し贈られるもので、今年は25人と6団体が対象。東田広報委員会は自治区の広報紙「ハロー！東田」を平成3年から26年間にわたり毎月発行し、地域づくりに貢献してきたことが評価されました。

感謝状の贈呈式は、5月6日(土)、豊田市民文化会館で行われた平成29年度豊田市区長会総会の席上で行われ、岩月委員長が出席しました。自治区だよりは、市内約300の自治区で発行されていますが、多くは年4回から6回程度で、毎月発行している自治区はわずかしかありません。その中でも26年間毎月欠かさず発行している「ハロー！東田」は特異な存在です。



この感謝状を励みに、今後も地域の皆さんに愛され、親しまれる「ハロー！東田」を作ってまいります。

芳琳流が発表会を開催

4月23日(日)、豊田市福祉センターホールで、日本舞踊の芳琳流(芳琳美生希家元)が第21回舞踊発表会「柏会」春爛漫狸御殿を開催し、東田自治区からも数名が出演しました。東田自治区内に稽古場を持つ芳琳流は家元が平成6年に創流。ハローホールにも教室があり、自治区民も大勢が踊りを楽しんでいます。寿神社の巫女舞も家元にご指導をいただいています。



稲武・大野瀬の焼酎が再登場

東田自治区は豊田市北部、稲武地区の大野瀬自治区と交流を進めています。この大野瀬地区で栽培されたさつま芋(黄金千貫)と米(ミネアサヒ)を使った芋焼酎「大野瀬・温(ぬくもり)」が2年ぶりに商品化され、道の駅「どんぐりの里・いなぶ」で4月29日から販売が始まりました。1本1500円。前回発売した2000本はわずか2週間で売り切れ好評だったことから、今回も2000本が販売されます。なお、地域の高齢化もあって今後毎年販売できるかは未定とのこと。

8月の東田ふれあい盆踊り大会では大野瀬自治区が五平餅などを販売しています。一方10月に行われる大野瀬の秋祭りには東田自治区から区長ら数名が参加し焼き鳥の模擬店を出すなど、交流を深めています。山村部と都市部の交流は多様な楽しみ方を提供してくれそうです。



- ### 計報
- ご冥福をお祈りします
- 4月12日(水) 鈴木さだ子さん 88歳 南5組 寿町5丁目
 - 4月14日(金) 武田ヨシエさん 82歳 中B7組 寿町6丁目
 - 4月23日(日) 西崎喜美さん 60歳 西11組 寿町8丁目
 - 4月30日(日) 城のり子さん 63歳 中B5組 寿町6丁目

今月は片面です

P-BASE
 その一步が明日の元気。

各種機械部品、治工具、試作など製造、設計

岩月工業所(株)
 TEL.0565-714-123

お酒・惣菜・調味料
 株式会社 **菊屋**
 寿町4-5-2 TEL 28-4664

フォト＆ムービーサービス
 写真&ビデオ撮影・空撮

KK・アルバ
 寿町4-5-2 TEL 24-6005

冷暖房 空気調和 給排水 衛生 浄化槽
 電気工事 各種配管設備工事 設計施工
愛豊管工株式会社
 寿町8-6-1 TEL 27-0171

国税局・指定非営利活動法人

コスモスとよた
 緑ヶ丘7-61 TEL 74-0027